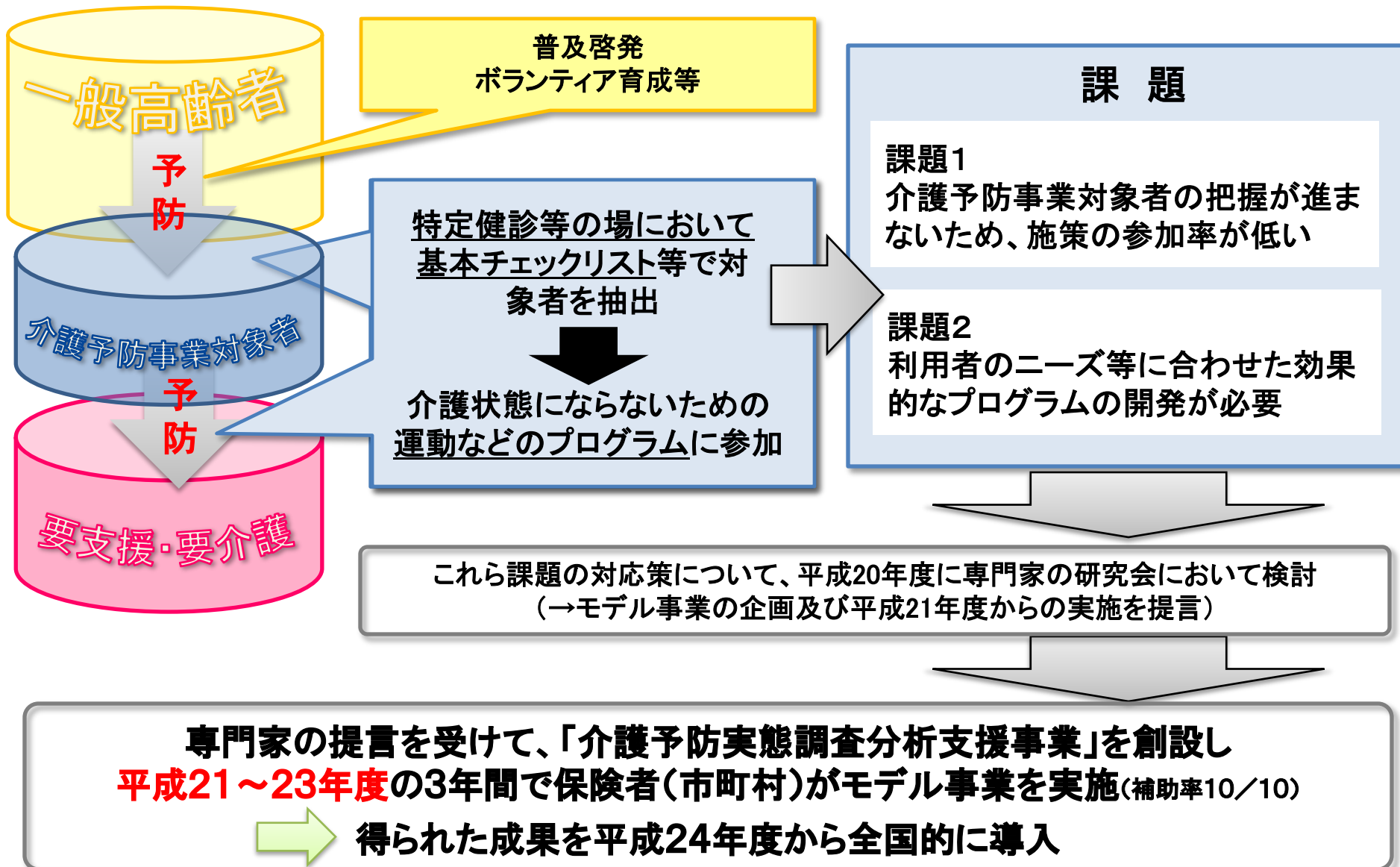


介護予防実態調査分析支援事業

《事務・事業説明資料》

介護予防事業とは？

高齢者が要支援・要介護状態となることを予防するための事業



介護予防実態調査分析支援事業の概要

課題1: 介護予防事業対象者の把握が進まないため、施策の参加率が低い

対応1-①

基本チェックリストの全数配布・回収

基本チェックリストを高齢者全員に配布するとともに、未回答者については電話・訪問等によりフォローを行うことにより回収率を上げ、施策の参加率の向上につながるか等の手法を検証

対応1-②

一般高齢者の介護予防教室を活用した 介護予防事業対象者の把握

一般高齢者の介護予防教室を活用し、高齢者の介護予防事業への理解を促進し、施策への参加に対する抵抗感を軽減することにより、介護予防対象者の施策の参加率の向上につながるかを検証

課題2: 利用者のニーズ等に合わせた効果的なプログラムの開発

対応2-①

運動器疾患対策プログラム

膝痛・腰痛などにより、従来の運動器疾患対策プログラムに参加出来ない方に対し、負担のかからない運動器の機能向上プログラムを実施し、プログラムの有効性を検証

対応2-②

複合プログラム

従来は、別々に提供されている栄養改善、口腔機能向上のプログラムと運動器の機能向上プログラムと組み合わせることで、相乗的な効果が得られたか検証

対応2-③

認知症機能低下予防 プログラム

現在、提供されていない認知機能の低下を予防するプログラムを先駆的に実施し、その効果を検証（平成22年度より実施）

課題1への対応で得られた成果

対応1-① 基本チェックリストの全数配布・回収

- 現状では、特定健診に併せて基本チェックリストを配布する方法が主体だが、健診未受診により配布されない高齢者も多く、この方法によって把握した介護予防事業の対象候補者は**7.7%**。
- 一方、本事業(基本チェックリストの全数配布・回収)で把握された介護予防事業の対象候補者※1は**17.4%**。

→**2.3倍**の効果

※1 介護予防事業の対象候補者数／高齢者人口

対応1-② 一般高齢者の介護予防教室を活用した介護予防事業対象者の把握

- 現状では、基本チェックリストを配布しても約6割しか回収できないため、この方法によって把握される介護予防事業の対象候補者は、基本チェックリストを配布した者のうち**14.7%**。
- 一方、本事業(介護予防教室参加者に基本チェックリストを配布)では回収率が9割以上と高く、把握された介護予防事業の対象候補者※2は、基本チェックリストを配布した者のうち**25.9%**。

→**1.8倍**の効果

※2 介護予防事業の対象候補者数／基本チェックリスト配布数

H20全国値は、平成20年度「介護予防事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査結果」から引用

課題2への対応で得られた成果

対応2-① 運動器疾患対策プログラム

膝痛・腰痛などにより、従来の運動器疾患対策プログラムに参加出来ない方に対し、運動器疾患対策プログラム(膝痛、腰痛、転倒・骨折予防)を実施

膝の状況(痛みや生活の状況)や腰の状況(痛みや生活の状況)、転倒・骨折予防について、有意に改善していた。

膝の状況(痛み)

参加者は**12点改善**※1
(37点→25点)

腰の状況(痛み)

参加者は**15点改善**※1
(42点→27点)

※1) 痛みの尺度(VAS):0(痛みなし)~100点(最も強い痛み)

対応2-② 複合プログラム

複合プログラム(運動器の機能改善、栄養改善、口腔機能の向上を組み合わせ実施)を実施

嚥下機能、口腔のQOL、身体状況(開眼片足立ち)等について、有意に改善していた。

嚥下機能

参加者は**5.2秒改善**※2
(38秒→33秒)

身体状況
(開眼片足立ち)

参加者は**3.5秒改善**
(20秒→23秒)

※2) 3回唾液を飲み込むのにかかった時間

プログラムの効果を検証するためには、短期的な評価のみではなく、参加者を追跡し、継続的に評価を実施する必要がある。

この他、増加する認知症予防のために、本年度より実施している「認知機能低下予防プログラム」についても引き続き検証が必要

現 状 ①

(1) 予算の状況

	20年度※	21年度	22年度
予算額(補正後) (百万円)	—	360	342
執行額 (百万円)	—	135	309
執行率	—	37.5%	90.3%
総事業費(執行ベース)	—	135	309

※本事業は、平成21～23年度の事業である。

(2) 使途の把握水準・状況

事業の実施主体である保険者からモデル事業の効果等の検証に必要なデータを報告させるとともに、事業実績報告により支出内容及び事業実施内容等を把握している。

現 状 ②

・事業の実施状況

平成21年度

平成22年度

- ①基本チェックリストの全数配布・回収
- ②一般高齢者の介護予防教室を活用した
介護予防事業対象者の把握
- ③運動器疾患プログラム
- ④複合プログラム
- ⑤認知症機能向上プログラム

15カ所

8カ所

9カ所

8カ所

—



70カ所

8カ所

11カ所

10カ所

3カ所

計

40カ所

102カ所

(3)これまでの見直し

昨年度は事業開始初年度であり、参加カ所数が当初見込みを下回り**執行率が37.5%**と低かったため、本年度においては、新たに保険者等からの要望を収集などして、

- (1) 基本チェックリストの全数配布・回収事業の参加箇所数の増加
- (2) 認知症機能低下予防プログラムの追加
- (3) 事業に要する事務経費の効率化を図り18百万円の削減

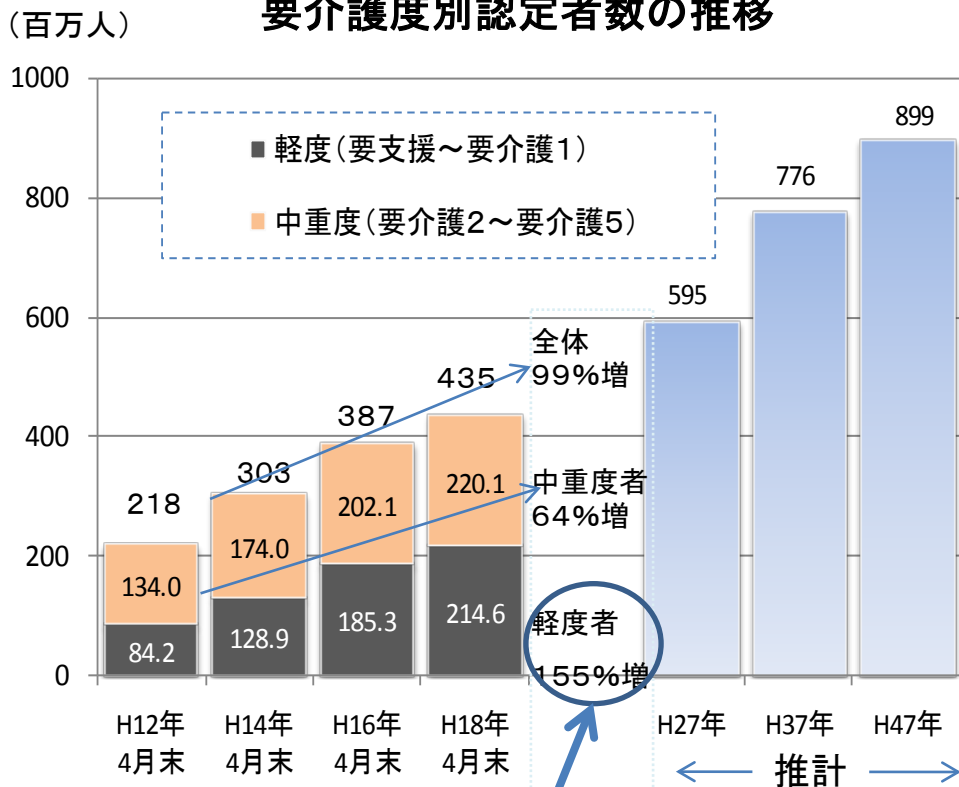
を図り、**執行率が90.3%**になったところ。

参 考 资 料

介護予防事業導入の経緯(平成18年度創設)

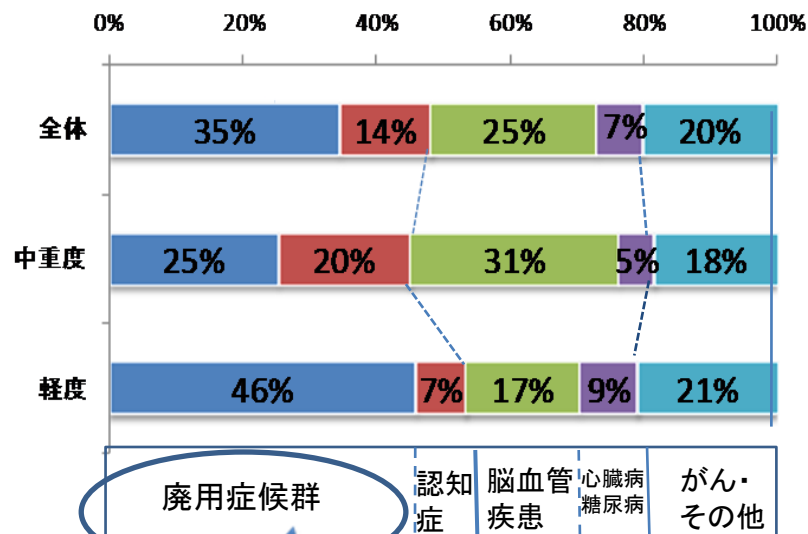
- 軽度の認定者(要支援・要介護1)の大幅な増加。
- 介護保険制度における廃用症候群*対策の重要性の高まり。

要介護度別認定者数の推移



- 介護保険開始から、認定者が著しく増加
- 特に、軽度認定者の増加は顕著

要介護度別の原因疾患



- 廃用症候群が軽度者の46%を占めている
- 特に廃用症候群は加齢による機能低下で、高齢者に多い。定期的な運動などによる予防の取組が必要。

(※: 不活発な生活を原因として生じる全身の心身機能低下。筋力低下、骨がもろくなる、関節が固くなる、知的活動低下などの症状)

介護予防事業の概要

- 介護予防事業とは、介護保険法第115条の44の規定に基づき、要介護状態等ではない、高齢者に対して、予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止のために必要な事業として、市町村が実施。
- 事業は、要介護状態等となるおそれのある高齢者とその他に分類してサービスを提供している。
- 平成22年度予算額 176億円(国費ベース。国1/4、都道府県1/8、市町村1/8、保険料(1号2/10、2号3/10))

一般高齢者への施策

【対象者】

高齢者全般

【事業内容】

- 介護予防普及啓発事業
 - ・講演会等開催
 - ・パンフレット作成 等
- 地域介護予防支援事業
 - ・ボランティア育成
 - ・自主グループ活動支援 等

介護予防事業対象者への施策

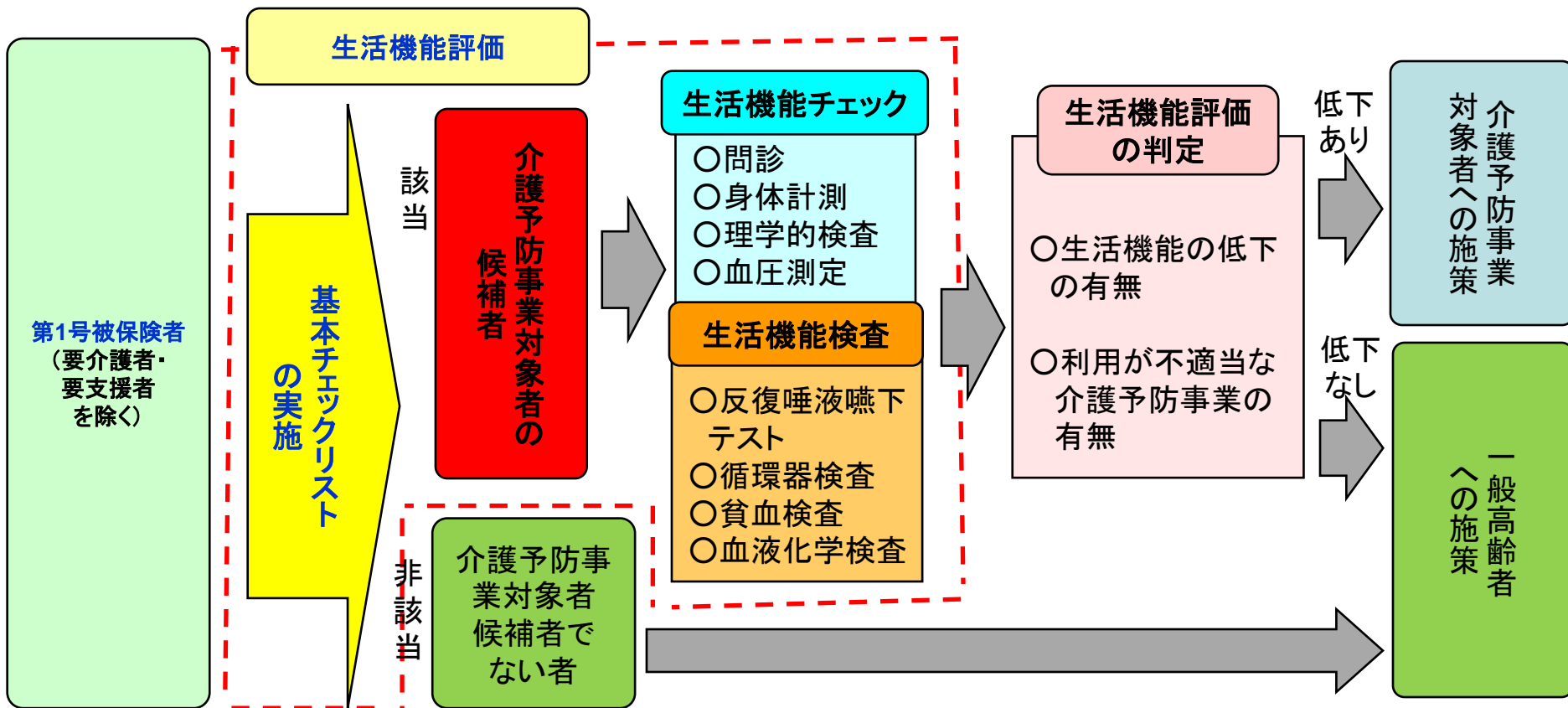
【対象者】

要介護状態等となるおそれのある高齢者

【事業内容】

- 通所型介護予防事業
 - ・運動器の機能向上プログラム
 - ・栄養改善プログラム
 - ・口腔機能向上のプログラム 等
- 訪問型介護予防事業
 - ・閉じこもり、うつ、認知症への対応
 - ・通所が困難な高齢者への対応 等

介護予防事業対象者の選定の流れ



○市町村は、要介護者及び要支援者を除く第1号被保険者に対して、基本チェックリストを実施し、介護予防事業対象者の候補者を選定

○介護予防事業対象者の候補者に対して、基本チェックリストを除く生活機能チェックと生活機能検査を実施し、介護予防事業対象者に該当する者であることの確認を医師が行う

基本チェックリスト

▼No.	▼質問項目	回 答▼
1	バスや電車で1人で外出していますか	0.はい 1.いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0.はい 1.いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい 1.いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい 1.いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい 1.いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0.はい 1.いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0.はい 1.いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0.はい 1.いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1.はい 0.いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい 0.いいえ
11	6ヵ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい 0.いいえ
12	身長 cm 体重 kg (BMI=) (注) BMI 18.5未満なら該当 * BMI (=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))	1.はい 0.いいえ
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい 0.いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい 0.いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1.はい 0.いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい 1.いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい 0.いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか	1.はい 0.いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい 1.いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい 0.いいえ
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1.はい 0.いいえ
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめな くなった	1.はい 0.いいえ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに 感じられる	1.はい 0.いいえ
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい 0.いいえ
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1.はい 0.いいえ

【介護予防事業対象者の候補者の選定】

次の i から iv までのいずれかに該当する者を介護予防事業対象者の候補者として選定する。

- i 1から20までの項目のうち10項目以上に該当する者
- ii 6から10までの5項目のうち3項目以上に該当する者
- iii 11及び12の2項目すべてに該当する者
- iv 13から15までの3項目のうち2項目以上に該当する者